



「令和5年度 学校・教育評価アンケート」結果から

校長 佐藤 雅彦

令和6年、新年あけましておめでとうございます。このお正月は、日本での大きな災害、事故が続き、皆さんもたいへん驚かれ、心配なさったことと思います。元旦には、能登半島地震が起き、多くの人が被災されました。また、2日には羽田空港で航空機の衝突炎上事故が起き、お亡くなりになった方もいて、心が痛むばかりです。遠く離れたこの地からも、哀悼の意「人間の死に対して共に悲しむ思い」を抱き、表したいと思います。

先日8日(月)には、児童生徒が元気な姿を見せてくれて、第3学期始業式を挙行することができました。私からは、「継続は力なり」について話しました。1枚の紙はわずか1ミリに満たない薄いものだけ、それを毎日1枚ずつ500日継続して積み重ねていったならば、片手で持つのも重いほどの厚さになります。英語の力をつけたいという目標をもって、「新しい英単語を1日に6個覚える」ことを続けた人がいます。その人はほぼ毎日、その努力を継続し、10日で60個、100日で600個、1年で2000個を超える英単語を身に付けることができたのです。継続は力なり、まさにそうだと考えます。そして、努力を続けられること、それ自体が才能であるとも言えるのだと伝えました。ロンドン日本人学校公式Blogには、5年生から中3生までの「式辞感想」の一部を掲載する予定です。

「学校・教育評価アンケート」

3学期がスタートし、令和5年度もまとめの時期を迎えています。本校では昨年12月に保護者の皆様にご協力をいただき、「学校・教育評価アンケート」を実施しました。

この取組では、保護者の皆様のみならず、小学部5学年から中学部3学年までの児童生徒全員、教職員全員を対象に、相互に関連する質問項目を含んだ

アンケートを行い、それぞれの結果を比較する中から本校が重点として取り組んでいる教育の強み、改善すべき点や課題となることを明らかにします。結果は、「肯定的評価」と「否定的評価」「分からない」の3つに分類してグラフ表示し、今年度との比較ができるよう下段に昨年度の結果を表示しています。

今年度の保護者アンケートでは、昨年度にも増して高い肯定的評価をいただくことができました。その中でも有意性があると判断できる項目がいくつかあります。まず、肯定的評価として、「学校は各種のたよりやストリーム・ブログなどで、教育目標や合言葉、学校の様子を分かりやすく伝えている」98.1%、毎週の学級ブログや、月毎に発行される学校・学年たより、さらに、様々な連絡ストリーム、毎日の公式Blogなどの取組について、多くの保護者の方から評価いただいたものと考えます。また、「児童生徒は、互いに協力しながら、授業や行事に熱心に取り組んでいる」は、昨年度から+3ポイントとなり、98.5%、「我が子は、運動会・文化祭等の行事の取り組みを通じて成長したと感じる」も、+3ポイントで98.5%の高評価となっています。

一方、昨年度よりも6ポイント改善したとはいえ、「我が子は、グーグルクラスルームを含めた、パソコンやタブレットを使った学習をすることでICT活用能力が向上したと感じる」については、否定的評価が14.4%となっており、発達段階に応じたICT活用能力の向上は本校の研究テーマでもありますので、今後、研鑽を重ね、改善を図らねばなりません。さらには、「我が子は、文章を読み取ったり、書いたりする力がついたと感じる」の肯定的評価は昨年度比+9.1%と改善しつつあります。今後も、授業において、読み取り、書く活動を多く取り入れ、子どもたちの言語能力を育ててまいりたいと考えます。

そして、今年度の学校重点目標として95%以上を掲げた「我が子は、毎日学校に行くのを楽しみにしている」についての肯定的評価は、95.2%と達成できました。しかしながら、4.3%の保護者が否定的な評価をしているということでもあり、一人一人の児童生徒をさらにしっかりと見つめ、保護者との連携を密に図っていくことの重要性を改めて感じているところです。

児童生徒アンケートでは、「先生方は、授業で教える方を工夫していると感じる」は、昨年度に引き続き、さらなる前進が見られ、96.9%の肯定的評価となりました。ロンドン日本人学校の各教員が、高い専門性を持ち、授業で勝負するという決意のもと、子どもたちにとって主体的対話的で深い学びとなるよう、日々努めていることが報われた思いがします。

また、「私は、自分から気持ちの良いあいさつをするように心がけている」が93.0%と昨年度比+4ポイントとなりました。今後も、本校の伝統である気持ちのよいあいさつが進んでできるように児童生徒の気持ちを喚起してまいります。

本校の特色である英語・英会話教育については「私は、授業をはじめとした学校の取組を通じて、英語の力がついたと感じる」の肯定的評価が93.8%であり、昨年度比+12ポイントと大きく伸びました。そして、昨年度から質問項目に加えた「私は、英語・英会話の授業を通して英国の社会・文化・歴史やPSHE等の理解を深めることができた」については、93.0%の児童生徒が肯定的評価をしています。英語・英会話教育は、ロンドン日本人学校ならではの取組でもあることから、引き続き満足度の高い授業実践を目指さなければなりません。

児童生徒アンケート結果の中で、特に嬉しく感じた項目は、「私は、学校の各教科の授業に一生懸命取り組んでいる」97.7%であり、さらには、昨年度から5ポイント肯定的評価が増えて93.8%となった「私は、毎日学校に来るのが楽しみである。」でした。子どもたちが概ね充実した学校生活を送ることができているのだと感じられるからです。

教職員アンケートでは、「私は、教育目標や合い言葉の具現化のために職員同士で助け合い、協力・連携して職務を遂行している」90%、「私は、個々の児童生徒の問題や相談に向き合い、その解決に向けて共に考えるように心掛けている」93.5%と、この二つの項目が肯定的評価の高い項目です。関連して、保護者アンケート「学校は、児童生徒理解と情報収集に努め、問題を早期に把握して素早く対応している」の肯定的評価は、91.0%であり、昨年度と比較して教職員と保護者の意識差は縮まっています。今後も引き続き、取り組んでいるつもりで終わっていないか、子どもや保護者に取組の状況が分かりやすく伝わっているのかなど検証し、学校体制としての見直しを継続する必要があると考えています。

日本での働き改革の推進の中、本校では、一つ一つの学校行事等の意義や教育効果からその精選・削減が思うように進まず、教職員がたいへんハードな1年を送っているのは事実です。日課表や学校行事の見直し、勤務時間の管理など、工夫改善していくことが急務であると考えています。また、「学校は、テロ行為や侵入者・災害等の非常事態への対応を、組織的・継続的に行っている」については61.3%の肯定的評価に留まりました。昨年11月の事案については、管理職として強く責任を感じているところであり、今後の避難訓練を充実させるなど、リスクマネジメント、クライシスマネジメント等、危機管理の充実を図ってまいります。

学校・教育評価アンケートではそのほかに、「自由記述」として御意見・御要望、また、我々教職員に対する温かい労いのお言葉を多数いただきました。お寄せいただいた全ての内容を御紹介することはできませんが、学校として対応すべきこと、対応可能な内容については次年度に向けて検討・改善を進めております。今後も皆様の信頼に応え、子ども達が「国際社会を生き抜く力」を身につけるよう、確かな教育実践を継続してまいります。

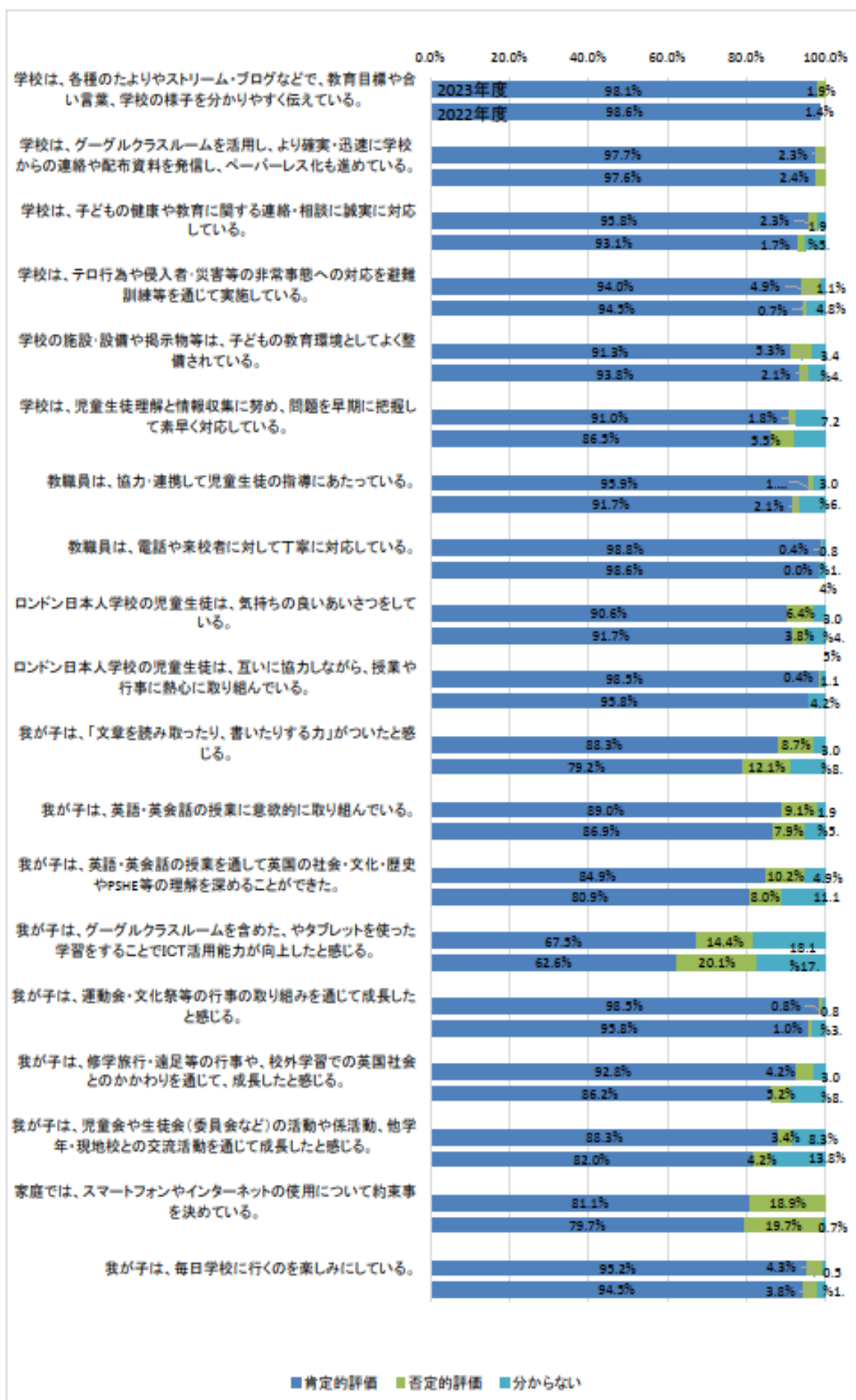
[ロンドン日本人学校公式 Blog](#)

ロンドン日本人学校の“今”を伝える
公式 blog を御覧ください。



2023年度 保護者による学校・教育評価アンケート集計 回収率91%

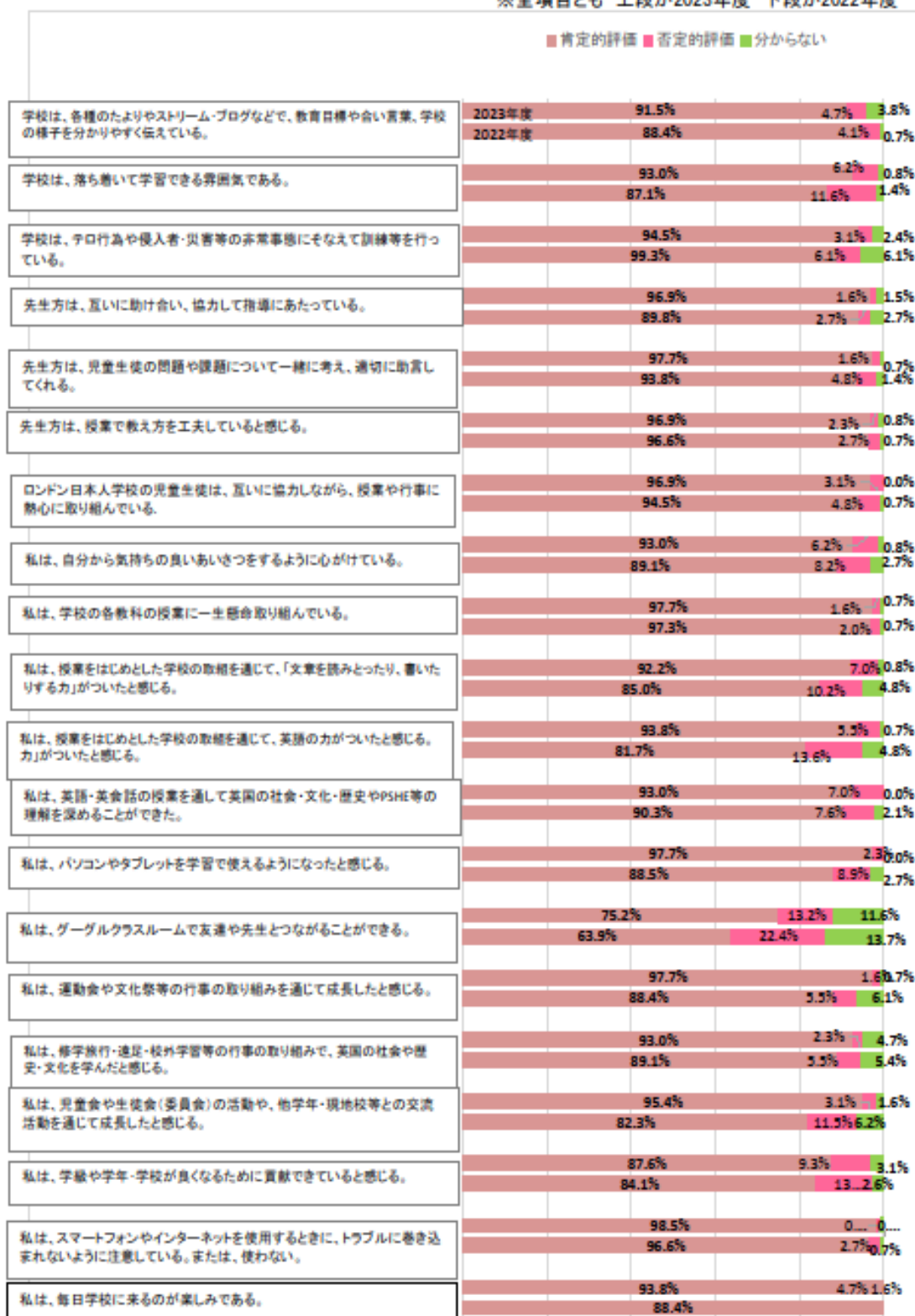
※全項目とも、上段が2023年度 下段が2022年度



■ 肯定的評価 ■ 否定的評価 ■ 分からない

2023年度 児童生徒による学校・教育評価アンケート 集計 回答率92%

※全項目とも 上段が2023年度 下段が2022年度



2023 学校・教育評価アンケート【教職員】

回収率100%

※全項目とも 上段が2023年度 下段が2022年度

